

事業報告書

新型コロナウイルス感染拡大の状況は長期化し、新型コロナウイルス特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)の申請受付期間の延長をはじめ、本会の各事業への影響も継続した。感染状況に合わせ、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が発出・施行され、その都度予定していた会議、事業は中止・延期を余儀なくされたものもあるが、できる限り感染対策を講じて実施できるよう工夫した。

基幹包括支援センターいずみさの、包括支援センターしんいけにおいて把握した生活課題・地域課題に対して、本年度より、NPO 法人泉佐野地球交流協会・一般財団法人泉佐野電力との共催による外国人への食糧支援事業、介護予防事業の一環としてスタートした「さのトレ体操」、認知症施策推進事業においては高齢者対象のタブレット教室、生きづらさを感じている人を対象とした「縁起プロジェクト」等新たな事業に取り組んだ。

地域活動支援については、各地区担当職員の配置により、感染症対策や代替プログラム、ICT ツールの導入の工夫について地域の状況に合わせ情報提供や研修・連絡会を開催し、地区福祉委員会等住民主体の支えあい活動推進の支援に取り組んだ。

ボランティアセンター事業については、ボランティアフェスティバルは公式 YouTube チャンネルにおいてボランティア活動の PR 動画の配信での実施に変更、チャリティバザー及びふれあいクリスマス会は感染対策を行った上でプログラムを工夫して開催した。

日常生活自立支援事業については、知的・精神障がい者の利用者が多く、長期的な契約となるケースが増加している。転入に伴う新規契約が増加した。

地域の実情に合わせた自主的な福祉活動の計画的実施のため、自主財源確保として、引き続き会員会費募集・歳末助け合い運動に努めた。赤い羽根共同募金については、街頭募金の代替として、市内のショッピングモールでのポスター掲示等 PR 啓発を行った。

泉佐野市民生委員児童委員協議会の運営については引き続き連携を密に事務局として支援を行った。

高齢者・障がい者を含め誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、関係者・関係機関と連携し以下の通り地域福祉活動を推進した。

〔1〕法人運営関係

1. 会議

法人の運営を円滑にするため下記の会議、研修会を開催した。

(1) 定例理事会の開催	10回
(2) 三役会の実施	2回
(3) 定例評議員会の開催（書面決議含む）	3回
(4) 監査の実施	1回
(5) 評議員選任・解任委員会の開催	3回

2. 法人への寄附

寄託件数	4件
寄託金額	1,004,000円
寄託物品	福祉車両（日産セレナ）

〔2〕地域福祉事業の推進

平成7年度より取り組んでいる『小地域ネットワーク活動』は市内すべての地区で一人暮らし高齢者や高齢者・障がい者世帯等への個別支援活動や、町内会館等でのふれあいきいきサロン活動や子育てサロン、世代間交流会などが開催されていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により感染対策を行い小規模での開催がされた。

平成25年度から継続して行っている「地域の暮らしを話す会」についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響により感染対策を行い小規模で開催された地区や、書面により開催された地区があった。

1. 小地域ネットワーク活動地区の指定

- | | |
|---------|--------------------------|
| 《7年度～》 | (1) 日新地区福祉委員会連合会・・・〔4支部〕 |
| | (2) 佐野台地区福祉委員会・・・〔4支部〕 |
| | (3) 北中地区福祉委員会・・・〔3支部〕 |
| | (4) 三小地区福祉委員会・・・〔3支部〕 |
| | (5) 末広地区福祉委員会・・・〔6支部〕 |
| 《8年度～》 | (6) 一小地区福祉委員会・・・〔8支部〕 |
| 《9年度～》 | (7) 長滝地区福祉委員会・・・〔5支部〕 |
| 《10年度～》 | (8) 上之郷地区福祉委員会・・・〔7支部〕 |
| 《11年度～》 | (9) 大土地地区福祉委員会・・・〔2支部〕 |
| 《12年度～》 | (10) 長坂地区福祉委員会・・・〔8支部〕 |
| 《13年度～》 | (11) 日根野地区福祉委員会・・・〔9支部〕 |
| 《14年度～》 | (12) 南中地区福祉委員会・・・〔4支部〕 |
| | (13) 中央地区福祉委員会・・・〔6支部〕 |
| 《15年度～》 | (14) 二小地区福祉委員会・・・〔9支部〕 |

2. 連絡会の開催

- | | |
|-------------------|---------------|
| (1) 地区福祉委員会連絡会の開催 | 4回 |
| (2) 支部連絡会の開催 | 1回（二日間に分けて開催） |

3. 研修会・講座等の開催

- | | |
|-----------------------|--|
| (1) 子育てサロン実施地区研修会・連絡会 | |
| 開催日 | ／ 令和3年10月4日（月） |
| 内容 | ／ 研修会「地域と子育て世代との繋がりづくりについて」
講師：大阪成蹊短期大学幼児教育学科
准教授 鈴木 大介氏 |
| 参加者 | ／ 21名 |

(2) 小地域ネットワーク活動報告集会の開催

開催日 / 令和4年2月24日(木)

内容 / 実践発表「他団体との連携」大土地区福祉委員会

「樫井東の憩いの場 笑茶話茶 Café」

南中地区福祉委員会 樫井東支部福祉委員会

講演 「不登校から見える社会課題と現状」

講師：NPO 法人ここ 馬場 しずか氏

参加者 / 103名

(3) 地域活動でも実践できる ICT 講座

開催日 / 令和3年12月14日(火)

内容 / タブレット操作体験・講座

事例紹介・その他

講師：Print コーディネーター 窄口 真吾氏

参加者 / 22名

(4) 小地域を支えるボランティア講座

より市民に近いところで開催できるように、出張講座として行えるようにメニュー表の整備などを行った。

日時	地区	内容
4月4日(日)	鶴原中央住宅	福祉部活動について

(5) 学校における福祉教育への協力

日時	学校	対象	内容
12月2日(木)	第三小学校	1・2年生	ユニバーサルスポーツ体験(ポッチャ)
		3・4年生	車いす体験
		5・6年生	ボランティアについて学ぶ
12月22日(水)	第三小学校	5年生	事後学習
12月13日(月)	上之郷小学校	3年生	車いす体験
1月26日(水)	日新小学校	5年生	車いす体験

4. 小地域ネットワーク活動の実績

《個別訪問活動》

項目 支部	ネット数 (世帯)	月1回以上の定期的な訪問			延べ 訪問回数 (回)	延べ 訪問人数 (人)	登録協 力員数
		65歳以上 独居高齢者	65歳以上 高齢者世帯	その他 障がい者他			
日新地区	205	202	0	3	2,249	5,722	60
佐野台地区	248	184	54	10	9,788	11,936	166
北中地区	288	286	0	2	3,369	7,378	73
三小地区	83	79	2	2	1,928	3,856	66
末広地区	61	55	5	1	1,978	3,884	81
一小地区	157	154	2	1	2,489	4,229	154

項目 支部	ネット数 (世帯)	月1回以上の定期的な訪問			延べ 訪問回数 (回)	延べ 訪問人数 (人)	登録協 力員数
		65歳以上 独居高齢者	65歳以上 高齢者世帯	その他 障がい者他			
長滝地区	97	80	5	12	2,425	3,869	85
上之郷地区	69	62	7	0	916	1,042	93
大土地区	44	39	4	1	528	864	53
長坂地区	239	204	25	10	3,720	8,194	139
日根野地区	194	178	16	0	2,625	4,882	211
南中地区	141	141	0	0	1,913	3,856	74
中央地区	203	201	1	1	2,647	5,912	68
二小地区	207	175	11	21	2,854	3,698	110
合計	2,236	2,040	132	64	39,429	69,322	1,433

《グループ支援活動》

項目 支部	実施回数 (計)	グループ支援活動内訳			参加者内訳	
		いきいきカサ	世代間交流会	子育てサロン	対象者	関係者
日新地区	113回	108回	3回	2回	1,594名	246名
佐野台地区	114回	109回	5回	0回	2,148名	777名
北中地区	7回	5回	0回	2回	151名	53名
三小地区	15回	5回	1回	9回	309名	144名
末広地区	174回	172回	2回	0回	2,968名	1,007名
一小地区	379回	371回	1回	7回	6,266名	1,245名
長滝地区	155回	135回	15回	5回	1,692名	753名
上之郷地区	20回	16回	1回	3回	304名	105名
大土地区	4回	3回	1回	0回	233名	31名
長坂地区	322回	317回	5回	0回	2,905名	1,033名
日根野地区	75回	60回	4回	11回	1,284名	355名
南中地区	8回	4回	1回	3回	192名	44名
中央地区	54回	43回	3回	8回	316名	129名
二小地区	114回	70回	34回	10回	1,506名	415名
合計	1,554回	1,418回	76回	60回	21,868名	6,337名

5. 地域の暮らしを話す会の実施

地区	日時	場所	人数
日新	12月13日(月) 19:00～	ホテルニューユタカ	54名
佐野台	2月20日(日) 13:00～	南泉ヶ丘町会館	8名
	3月13日(日) 13:00～	南泉ヶ丘町会館	7名
北中	書面開催		51名
三小	書面開催		12名
末広	11月18日(木) 19:30～	東羽倉崎南町自治会館	13名

地区	日 時	場 所	人数
一 小	3月11日(金) 19:30～	羽倉崎町会館	13名
長 滝	7月21日(水) 15:00～	長滝第一町内会館	30名
	9月9日(木) 15:00～		10名
	3月23日(水) 15:00～		30名
上之郷	11月29日(月) 18:30～	上之郷コミュニティセンター	16名
大 土	書面開催		30名
長 坂	書面開催		84名
日根野	11月13日(土) 19:00～	日根野公民館	32名
南 中	10月28日(木) 19:00～	南部市民交流センター	23名
中 央	11月27日(土) 10:30～	葵町会館	13名
二 小	書面開催		48名

延べ参加者 474名

6. 地域福祉活動計画の推進

- (1) 地域福祉活動計画推進委員会の開催 1回

7. 生活支援体制整備事業

平成30年度より第1層生活支援コーディネーターを1名配置、令和元年度には第2層生活支援コーディネーターを2名配置し、令和2年度には第2層生活支援コーディネーターを1名増員し住民による支えあい活動を推進した。

第1層協議体「泉佐野わいわいの輪」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催できない状態であった。

- (1) コミュニティカフェ実施主体連絡会の開催

開催日 / 令和3年10月26日(火)

参加者 / 33名

- (2) 各種会議への参画

地域福祉計画推進審議会・地域福祉活動計画推進委員会、地域福祉計画庁内検討会議、地区福祉委員会連絡会、社協地区担当者会議、地区担当者連携全体会議、地域の絆づくり担当者会議、医療介護連携事業事務局会議、地域ケア会議全大会、自立支援型地域ケア会議

- (3) 生活援助サービス従事者研修の実施

3日間×2クール

合計参加者数 / 37名(35名修了証発行)

8. 大阪府福祉基金 地域福祉振興助成金の活用

「もっとつながれるリモートサロン支援事業」として、コロナ禍での人とのつながりを継続できるように、ICTの活用を行うことによって、高齢者や子育て世代の孤立防止を目的とした。インスタグラムの動画投稿で、時間・場所を選ばず視聴できるため、普段の子育てサロンの開催日に都合のつきにくい方とつながるきっかけとなった。また高齢者サロンでは、リモートにすることで対面でなくつながることができた。ICT講座で

月末の登録ボランティアは 189 名、延べ活動人数は 242 名である。

内訳は表のとおり。

分野	施設名	活動内容	延べ活動者数
高齢者	グループホーム 泉州	レクリエーション補助	5 名
障がい者(児)	スポーツ教室	スポーツ介助	3 名
	いいね	レクリエーション補助	9 名
	ルリエ	レクリエーション補助	20 名
社 協	声のボランティア	市報朗読	178 名
		対面朗読	11 名
	—	作品づくり	10 名
	イベント	チャリティバザー手伝い	6 名

(2) グループ登録ボランティア

ボランティアグループの育成・支援をするためにボランティアセンターや福祉センターの会議室や機材等の貸し出しを行い、また、社協事業において登録グループに協力を求め、外部からの派遣依頼に対しグループの紹介を行った。3 月末の登録ボランティアグループは 11 グループである。

ボランティアセンターからの活動依頼及び紹介による活動実績は下記のとおり。

グループ名	活動内容	活動回数	延べ活動者数
リフォーム なでしこ	社協ふれあいクリスマス会イベント制作	29 回	81 名
おはなしの会 ルピナス	社協ふれあいクリスマス会プログラム出演	1 回	4 名

3. 講座及び研修会の開催

(1) ボランティア活動説明会

新規ボランティアの発掘とボランティア活動の啓発を目的としてボランティア活動説明会を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数
6 月 28 日	社会福祉センター 2 階 小会議室	ボランティアの役割と心構え及びボランティアセンターでの活動について	1 名

4. 居場所と交流機会の提供

(1) サテライト事務所「シャッピーハウス」の開設

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、貸館利用の各種団体やボランティアグループの活動拠点として、シャッピーハウスの運営を行った。また、チャリティショップ運営、掘り出し市、シャッピーハウス PR イベント「シャッピーのなぞときハウス」の実施を行った。

5. 各種行事

(1) 障がい児者ふれあい交流会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボッチャスクールとボッチャ大会の開催が中止となった。

(2) 第42回 社協チャリティバザー

社会福祉関係団体及び協力団体・グループや市民の協力を得て、あらゆる品物を市価の半額程度で販売。売上金はすべて市民の福祉活動のために使用する。新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として人数制限を設けるなど、小規模での開催となる。

売上金 / 926,360 円
開催日 / 令和3年12月5日(日)
内容 / 物品販売・オークション等
場所 / 市立社会福祉センター
協力者 / 前日 41名、当日 86名

(3) 第43回 社協ふれあいクリスマス会

障がいをもつ児童や家庭児童相談員や教育委員会が関わっている子どもを対象に開催した。

開催日 / 令和3年12月18日(土)
内容 / プログラム(ボランティアグループ「おはなしの会ルピナス」によるパネルシアター・大型絵本の読み聞かせ)、プレゼント、ケーキの配布
場所 / エブノ泉の森ホール レセプションホール
参加者 / 対象児童50名・同伴者79名・ボランティア25名 合計154名

(4) 第9回 ボランティアフェスティバル

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面開催は中止となった。代替企画としてボランティアフェスティバルPR動画を作成し、社協公式YouTubeチャンネルにて配信を行った。

・動画数 18本(1本約5分)
・総視聴再生回数 2,480回(3月末時点)
・出演ボランティア数 延べ110名
・配信日 令和3年12月1日～随時配信

(5) 掘り出し市

開催日 / 令和3年10月30日(土)
内容 / 市民・事業所による持ち寄り品の販売
場所 / シャッピーハウス館内
参加者 / 参加者 約80名

(6) シャッピーのなぞときハウス

開催日 / 令和4年3月26日(土)
内容 / 中学生以下の児童を対象に謎解きゲームを通して、福祉や泉佐野市について学べるプログラムを実施

場 所 / シャッピーハウス館内

参加者 / 参加者 14名

6. 善意銀行 寄託・払い出し状況

寄託件数	22件
寄託金額	1,275,900円
寄託物品	食料品、マスク、カットバン、手芸用品、おもちゃ

払い出し件数	5件	
払い出し金	① ふれあいクリスマス会	81,155円
	② 心配ごと相談事業	105,400円
	③ 障がい児者ふれあい交流会	17,852円
	④ ボランティアグループ 応援助成金	102,310円
	⑤ 社協だより発刊	50,000円
	合 計	356,717円

〔5〕 総合相談事業の推進

『心配ごと相談所』の相談実績は以下のとおりで、内容に応じて関係機関等と連携し、問題解決の調整を行った。

1. 心配ごと相談所の開設

相談員数	14名
開設延日数	46日
出席延相談員数	59名
相談者数	7名
相談件数	7件
相談員連絡会議	3回

※相談状況

内容 対象者	家族 関係	人 間 他 の 関 係	病 気	仕 事	法 律	金 銭 関 係	そ の 他	計
高 齢 者	2	0	0	0	1	0	0	3
障 が い 者	0	0	0	0	0	0	0	0
子 育 て 中 の 親	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	2	0	0	1	0	0	1	4
計	4	0	0	1	1	0	1	7

※対応

傾聴	6件
助言	6件
他機関紹介	1件（基幹包括支援センターいずみさの）

[6] コミュニティソーシャルワーカー（CSW）事業の推進

令和2年度よりCSWの委託方法が変更され、包括支援センターしんいけとしてチームでのコミュニティソーシャルワーク機能の発揮に取り組んだ。

1. 新池圏域CSW分活動実績（個別相談）

(1) 対象者別

相談対象者	延べ件数	実件数
高齢者	0	0
1人暮らし		
高齢者のみ世帯		
その他高齢者		
障がい者	0	0
身体障がい者		
知的障がい者		
精神障がい者		
子育て中の親子	20	14
一人親家庭の親子	19	6
青少年	0	0
DV被害者	0	0
ホームレス	0	0
外国人（中国帰国者を含む）	0	0
その他	10	10
低収入（無職含む）	5	5
引きこもり	2	2
障がい疑い（疾病疑い）	1	1
DV加害者、虐待	0	0
その他	2	2
合 計	49	30

(2) 相談内容別

相談内容	対応延べ件数
福祉制度・サービスに関する相談	24
生活に関する身近な相談	8
健康・医療に関する相談	10
生活費に関する相談	13
就労に関する相談	1
財産管理・権利擁護に関する相談	0
多重債務に関する相談	0

相談内容	対応延べ件数
DV・虐待に関する相談	5
地域福祉・ボランティアに関する相談	0
住宅に関する相談	0
子育て・子どもの教育に関する相談	6
その他	8
近隣トラブル（人間関係）	2
家族関係	6
その他	0
合 計	75

〔7〕在宅福祉活動の推進

公的サービスで支援できない在宅要援護者の生活上の困りごとを支援するために、『有償協力員派遣事業』（おたがいさまの会）を行い、病院の通院付添いや、入院時の買物・洗濯などの支援、墓掃除など多様なニーズに対して支援を行った。

その他、外出困難な高齢者や障がい者等に対して『福祉車両』及び『車椅子』の貸し出しを行った。

1. 有償協力員派遣事業「おたがいさまの会」

- (1) 会員の登録状況 協力会員 / 26名 利用会員 / 33名
- (2) 支援状況 延べ183時間
- (3) 協力員連絡会の開催 2回
- (4) 運営委員会の開催 1回
- (5) 説明会の開催 1回

2. 福祉車両貸し出し

利用者数 2名 / 貸出回数 延べ32回

3. 車椅子貸し出し

利用者数 24名 / 貸出回数 延べ25回

〔8〕高齢者世帯への支援〈基幹包括支援センター・包括支援センターしんいけ〉

令和2年10月に地域型包括支援センターが開設されたことに伴い、今年度については、直接支援を行う「包括支援センターしんいけ」と、しんいけを含めた各地域型包括支援センターへの後方支援を行う「基幹包括支援センターいずみさの」事業で役割を分担しつつ、関係各部署と連携しながら問題共有や解決に取り組んできた。また、相談支援体制見直しの一環として、基幹包括支援センターにおける介護予防ケアマネジメント業務はすべて地域型包括支援センターへの移行が完了し、事業としては終了した。

基幹包括支援センター事業では、新型コロナウイルス感染症予防の観点から会議や研修会については、リモート開催も取り入れながら事業に取り組んだ。また、高齢者のデジタル格差解消と認知症予防を目的として、本年度は新たにタブレット教室を認知症施策推進

事業において開催し好評を得た。新型コロナウイルス感染症による外出や交流の自粛要請が続き、体力や認知能力の低下がみられる高齢者が増加している状況をふまえ、本年度より新たに専門職とともに作成した「さのトレ体操」の普及にむけたモデル事業にも取り組んだ。

今後も新型コロナウイルス感染防止による新しい生活様式が続く中、介護予防・認知症予防・健康づくりに取り組むとともに、市域全体の地域支援の体制整備の充実を進める。

1. 支援の基盤整備

(1) 高齢者虐待防止活動

高齢者虐待通報への対応件数 39件（うち「虐待あり」判断数20件）

(2) 在宅医療・介護連携推進事業

参加機関 11機関

①代表者会議 1回

②事務局会議 12回

③訪問によるネットワーク形成 医療機関9か所・訪問看護事業所1か所

④地域住民への普及啓発

泉佐野市版エンディングノート（メッセージノート）の改訂と広報誌への掲載・さのテレ（メッセージノートの紹介）の放映・看護学校での講座

⑤泉州南圏域医療・介護連携推進会議に参加

2. 総合相談・権利擁護

(1) 相談状況

		いずみさの	しんいけ
相談実人数		324名	217名
相談延べ件数（対応回数）		1,842件	1,371件
相談形態内訳	訪問	225件	314件
	来所面接	288件	126件
	電話	1,329件	931件

(2) 相談内容

相談内容		いずみさの	しんいけ
介護保険関係	介護保険制度	64	336
	ケアプラン	94	233
	サービス	164	476
	施設入所	0	87
介護保険関係以外の福祉サービス	緊急通報装置など(福祉制度)	26	25
	ボランティアなど(制度外)	27	10
医療・保健相談	保健予防	3	18
	入退院など（医療）	145	306

相 談 内 容		いずみさの	しんいけ
家庭介護・介護者支援	認知症	241	161
	身体介護	2	7
	精神介護	10	94
	家庭環境	139	105
権利擁護	成年後見制度など	347	31
	財産・経済問題など	363	85
	虐待関係	737	150
	その他	12	2
その他生活上の相談	社会生活など	71	65
	他	289	30
合 計		2,734	2,221

3. 包括的・継続的ケアマネジメント

(1) 介護支援専門員に対する支援

ケアマネジャー支援件数 いずみさの 650件、 しんいけ 422件
(相談内容)

支援数		支援内訳 (延べ)				
		ケアマネ ジメント	社会資 源紹介	主治医 連携	虐待 防止	その他
いずみさの	650	404	73	8	14	151
しんいけ	422	247	47	26	111	43

(2) 事業所向け研修会

開催日	内 容	参加者数
9月17日(金)	多職種事例検討会	45名
11月30日(火)	法定外研修「災害時におけるケアマネジャーの役割と活動・平時からの取り組みについて」	61名
1月19日(水)	法定外研修「介護予防ケアマネジメント・課題分析と効果的な目標設定の仕方」	39名

(3) 介護支援専門員連絡会活動支援

- ・泉佐野市田尻町介護支援専門員連絡会幹事会開催 4回(うち ZOOM 開催 3回)
- ・泉佐野市田尻町介護支援専門員連絡会総会 書面開催
- ・6市町ケアマネジャー合同連絡会 1回 (ZOOM 開催)

(4) 地域型包括後方支援

- ・介護予防支援業務・担当者会議開催 7回(うち ZOOM 開催 6回)

(5) ケアマネジャー交流会

合計 12回開催

4. 介護予防マネジメント

(1) 介護予防サービス計画作成数 1,518件

(内訳) 包括作成 190件 委託件数 1,328件

- (2) 介護予防ケアマネジメント作成数 963件
 (内訳) 包括作成 92件 委託件数 871件

5. 出張講座・介護予防教室等

- (1) 介護予防・認知症などに関する出張講座
 4回実施 延べ76名
- (2) 地域健康教室での出張講座 2回
- (3) 健康体操を用いた通いの場づくり
- ・調整会議 12回
 - ・住民向け説明会 3回
 - ・モデル実施団体 2団体 (開催支援 のべ14回)
 - ・一般介護予防事業モデル地区元気度体力測定会への協力 4回

6. 認知症施策総合推進事業

- (1) タブレット教室の開催 8回開催 参加者12名
- (2) 認知症ケアパスの普及、活用
- (3) 認知症サポーター養成講座
- ・開催回数 14回 養成サポーター数 285名受講(オレンジリング200名配布)
 - R3年度末 延べ7,391名受講(オレンジリング6,940名配布)
 - うち、キッズサポーター養成講座(北部青少年センター) 16名
- (4) 徘徊SOSネットワーク事業
- ・泉州圏域市町村徘徊高齢者等ネットワーク会議への参画
 - ・事業普及啓発のチラシ配布
 - ・徘徊SOSネットワーク発信 泉佐野市民0件 他市27件
- (5) 初期集中支援チーム事業
- ・事業の周知
 - ・支援対象者2名 チーム員会議5回開催 自宅訪問5回実施
- (6) WAOいずみさの 新型コロナウイルス感染拡大防止により未実施

7. 介護支援サポーター事業

登録申請者数	登録者数	活動人数 (実数)	活動人数 (延べ)	活動回数 (延べ)
6名	75名	6名	20名	81回

- (1) 介護支援サポーター交流会

開催日	内容	参加者数
11月15日(月)	第1回介護支援サポーター交流会	30名 (うち施設14名)
3月1日(火)	第2回介護支援サポーター交流会	15名 (うち施設4名)

[9] 障がい者世帯への支援〈基幹包括支援センター・包括支援センターしんいけ〉

障がい者世帯への支援においても、泉佐野市内における相談支援体制の見直しのなかで、各地域型包括支援センターの後方支援を行う基幹包括支援センター業務と、新池中

圏域の相談支援を担う包括支援センターしんいけ業務の2つの業務に取り組んだ。

コロナ下で障がい者の就労機会および授産製品の販売機会が減少している状況をふまえ、就労支援部会において、就労支援事業所パンフレットおよび授産品リストの作成と頒布にも取り組んだ。

1. 基幹相談支援センター業務

(1) 総合相談とスクリーニング機能

身体障がい、知的障がい及び精神障がい等に対応した総合相談窓口の設置並びに特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所への適切なつなぎを行った。

●相談状況

		いづみさの	しんいけ
相談実人数		187名	61名
相談延べ件数		4,782件	3,219件
相談形態 内訳	訪問	85件	155件
	来所面接	83件	67件
相談形態 内訳	同行	12件	58件
	電話	494件	477件
	メール	3件	71件
	関係機関連絡調整	1,394件	553件
	個別支援会議	172件	23件
その他		15件	0件

●相談内容延べ件数

相談内容	いづみさの	しんいけ
福祉サービスの利用等	955件	1,019件
障がいや病状の理解	814件	553件
健康・医療	296件	349件
不安の解消・情緒安定	385件	374件
保育・教育	92件	51件
家族関係・人間関係	573件	388件
家計・経済	214件	220件
生活技術	1件	25件
就労	85件	100件
社会参加・余暇活動	65件	51件
権利擁護	1,241件	24件
その他	61件	1件

(2) 相談支援事業所に対する後方支援（専門相談機能）

いづみさの 延べ520件 / しんいけ 延べ30件

(3) 自立支援協議会の事務局運営

- 事務局会議 6回
- 専門部会他会議の運営 9回
- (4) インターバル研修の受け入れ 10名
- (5) 相談支援体制強化（会議等の参加）
 - 「泉州地域障害者基幹相談支援センター連絡会」「泉佐野市相談事業連絡会」
 - 「ジョブネット泉州南」「泉南ブロック進路指導関係連絡会」「泉南支援学校進路懇談会」
- (6) 啓発活動
 - ・福祉教育 日新・上之郷・第3小学校に出張
 - ・就労支援部会にて作成した就労支援パンフレット、授産品リストの配布

2. 障がい者虐待防止センター業務

通常業務の他、休日夜間対応の通報ダイヤルを設置し障がい者虐待に関する相談・通報を受付した。

- ・障がい者虐待通報受理件数 41件うち虐待あり11件
- ・障害者虐待会議（レビュー会議） 泉佐野市4回／田尻町0回

3. 権利擁護支援センター業務

- (1) 法律相談 弁護士による個別相談 37件
- (2) 市民後見人関係：バンク登録者12名 / 受任者4名
 - ・受任者の相談、書類提出支援など
 - ・養成講座オリエンテーション広報
 - ・バンク登録者交流会の開催

4. 障害支援区分認定調査業務

障害福祉サービスを利用するために必要とされる支援の度合いを、全国一律の基準に基づき公平性と客観性の観点で調査業務を行った。

また、認定審査会への出席を市より依頼され、1名を委員として派遣した。

(1) 調査業務

	年間合計（延べ）
更新調査数	260件
新規調査数	176件
区分変更	17件
合計	453件
うち市外（高石以南）	44件

- (2) 障がい区分認定審査会への出席 6回

[10] 経済的困窮世帯への支援（基幹包括支援センター・包括支援センターしんいけ）

生活困窮者自立支援事業においては、住居確保給付金の支給要件緩和の影響や新型コロナウイルス感染症特例貸付の実施に伴い、延長申請・再申請時の面談とスクリーニングを担った。また、そのような中で外国人住民の困窮状況・社会的孤立などが明らかになった

開催日	講座名	参加者数
10月3日 (日)	「みんなだれかの応援団」 講師：特定非営利活動法人 大阪虹の会 副代表理事 日花 睦子 氏	26名

※10月3日開催分については縁起プロジェクト事業として開催

(7) 生活困窮相談員向け自主勉強会の開催 12回

2. いずみさの食料等支援ネットワーク 配分実績 (※7月1日～3月31日)

(1) 配布件数 36件 (個人支援26件・活動支援10件)

(2) 泉佐野食糧支援ネットワーク登録団体 9団体

3. 縁起プロジェクト

生きづらさを感じている人たちが安心できるつながりや自己肯定感の回復を得ることを目指して、通いの場づくりや地域理解を得るための取り組みを行った。また、支援者と当事者のコミュニケーションツールとして、「ぷらっとふおーむ通信」を毎月作成し、支援者を通じて当事者へ配布した。

(1) グループ活動 (りれーしょん 9回/その他の活動 5回)

(2) ぷらっとふおーむ通信 (対象者との交流ツール) 12回

(3) ひきこもり支援講座の開催 (再掲)

開催日	講座名	参加者数
10月3日 (日)	「みんなだれかの応援団」 講師：特定非営利活動法人 大阪虹の会 副代表理事 日花 睦子 氏	26名

[11] 子育て世代に対する支援 (基幹包括支援センター)

「子育て世代包括支援センター事業」および「母子保健事業」は、産前から子育て世代に関わり、社会的援護を要する家庭の発見・相談・専門機関の紹介などの情報提供を行うとともに、各地域型包括支援センターで受け付けた妊娠届のとりまとめ業務を行っている。

令和3年度においては、新たに、妊娠期の相談窓口周知のため、「泉佐野市の相談窓口・問い合わせ先一覧」を作成・配布と、今後の子育て支援情報の内容と発信方法について検討するために、「子育て世代への支援に関するアンケート」を妊娠届け出時に実施した。

(1) 妊娠届の受け付け・母子健康手帳の交付および面接

妊娠届 受理数	初期	中期	後期	産後	うち支援 プラン数	アセスメントシートにチェックが ついた妊婦数	
						76	うち特定妊婦数 29
149	147	2	0	0	0		

(2) 子育て世帯への相談・情報提供

来所相談	11件
訪問相談	20件
電話相談	49件

情報収集	34件
関係機関連絡調整	119件

〔12〕 地域自殺対策強化事業〈基幹包括支援センター〉

令和元年度より地域自殺対策推進事業では、地域のつながり・支えあいで自殺を防ぐことを目的に、講座・イベント・相談支援等を企画した。

(1) 一般市民啓発活動

開催日 / 令和4年3月16日～18日
 場 所 / いこらも～る泉佐野 1階特設会場
 内 容 / 相談窓口の啓発・法律相談
 参加者 / 196名

(2) 支援者養成事業

開催日	研 修 会 名	参加者数
9月14日 (火)	「アルコール依存症とアルコール関連問題」 講師：和気浩三氏（新生会病院） 対象：民生委員児童委員	130名
9月24日 (金)	「ギャンブル依存症を中心としたアディクションの理解と対応について」 講師：池田俊一郎氏（関西医科大学） 対象：障がいサービス事業所、ケアマネ等	24名
3月24日 (木)	「ゲートキーパー養成研修」 講師：基幹包括支援センターいずみさの職員 対象：地域住民	8名

(3) 若年層対策事業

※ひきこもり支援者連続講座の一環として実施

開催日	研 修 会 名	参加者数
6月23日 (水)	「自傷行為に対する対処と自殺予防のために教員ができること」 講師：東 千冬氏（羽衣カウンセリングオフィス） 対象：教育委員会	51名
10月31日 (日)	「不登校の子どもと家族」 講師：三科元明氏（非営利活動法人ここ） 対象：地域住民	56名

(4) 相談支援事業

対面相談 23件 訪問相談 61件 電話相談 253件
 コロナ禍のオンライン無料相談会 3名
 （延べ 弁護士3名、保健師1名、社会福祉士1名）

〔13〕 地域型包括支援センターの支援（基幹包括支援センター）

地域型包括支援センターの活動状況を把握し、業務が円滑に推進するように各センターからの相談に対し、その内容に応じ、助言、同行訪問、ケースカンファレンス開催、行政機関との調整や地域ケア会議開催等の支援をはじめ、業務毎に連絡会や意見交換会を実施したり、研修会や勉強会を開催し支援した。

- (1) 包括支援センター事務局会議の開催 年12回
- (2) 個別相談月別内容別の地域型包括支援センターの支援数 合計延 2,834 件
(内訳)

業務区分	地域包括					
支援内容	高齢者虐待	介護予防プラン	社会資源紹介	支援困難	関係機関調整	高齢相談その他
合計	332	332	21	187	67	124

業務区分	障害相談					
支援内容	障がい者虐待	サービス利用計画等	社会資源紹介	支援困難	関係機関調整	障がい相談その他
合計	255	15	20	213	115	79

業務区分	生活困窮					
支援内容	支援プラン	住居確保給付金	就労準備支援	社会資源紹介	統計システム操作	生活困窮その他
合計	90	107	15	57	51	388

業務内容	母子					
支援区分	母子手帳受付	ケース連絡	社会資源紹介	虐待防止	関係機関調整	母子その他
合計	162	11	10	22	37	29

業務内容	その他					
支援区分	届出等	ケア会議開催支援	苦情対応	対人援助	メンタル支援	その他
合計	1	6	35	4	9	40

〔14〕 広報宣伝活動の推進と備品の貸し出し

社協機関紙「社協だより」を年6回発行し、社協活動をPRするとともにホームページ、ブログ、インスタグラム、公式YouTubeチャンネルにより広く情報提供を行った。また、地域の福祉活動を応援するべく、社協備品の貸し出しを行った。

- (1) 社協だよりの発行 年6回（5月・7月・9月・11月・1月・3月）
- (2) 社協ホームページの運営 年間閲覧件数 延 42,251 件

〔15〕 日常生活自立支援事業の推進

判断能力の十分でない認知症高齢者や障がいのある方を対象に、契約によって、生活の相談に応じたり、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等のサービスを行うことで、自立した生活がおくれるよう支援を行っている。

なお、成年後見等開始の審判市長申立については、市と連携を図っている。

※ 契約・活動 件数

内 容	本事業の利用に関するもの			合 計
	対象者 状況	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	
活 動 件 数	249	1,166	1,240	2,655
新 規 契 約 件 数	1	7	4	12
契 約 件 数	7	26	23	56

[16] 社会福祉協議会会員組織の充実と自主財源の強化

社協会員会費制度の継続加入を図り、各町内会・福祉委員会他、福祉関係団体の協力を得て、7,271,000円（昨年比－292,500円）の浄財が寄せられた。そのうちから、地域の福祉活動に利用していただく為、会員会費の50%を還付した。さらに、地区福祉委員会活動に10%還付した。

協賛会員制度については、300,000円の浄財が寄せられた。

1. 各地区・社協会員会費募集状況

一 小 地 区	1, 4 7 7, 0 0 0 円
二 小 地 区	5 4 0, 0 0 0 円
三 小 地 区	4 4 0, 0 0 0 円
日 新 地 区	1, 1 4 6, 5 0 0 円
中 央 地 区	3 9 0, 0 0 0 円
長 滝 地 区	5 7 5, 5 0 0 円
北 中 地 区	7 8 7, 0 0 0 円
南 中 地 区	2 6 0, 0 0 0 円
長 坂 地 区	3 3 1, 0 0 0 円
佐 野 台 地 区	5 6 4, 0 0 0 円
上 之 郷 地 区	2 5 0, 0 0 0 円
日 根 野 地 区	3 0 0, 0 0 0 円
末 広 地 区	1 2 0, 0 0 0 円
大 土 地 区	9 0, 0 0 0 円
合 計	7, 2 7 1, 0 0 0 円

2. 協賛会員会費募集状況 (1口 10,000円)

泉佐野市長生会連合会	社会福祉法人 いちちょうの森
社会福祉法人 光会	社会福祉法人 常茂恵会
社会福祉法人 泉ヶ丘福祉会	社会福祉法人 水平会

社会福祉法人 犬鳴山	社会福祉法人 和泉の国
社会福祉法人 清光会	泉佐野地区 保護司会
社会福祉法人 来友会	社会福祉法人 泉佐野ルーテル福祉会
社会医療法人 栄公会	社会福祉法人 あおい会
社会福祉法人 日新親友会	社会福祉法人 杉の子会
社会福祉法人 清和会	社会福祉法人 日根野福祉会
社会福祉法人 みやび	社会福祉法人 幸楽会
NPO法人 いきいきくらぶ	泉佐野ロータリークラブ
民生委員児童委員協議会	土丸町会
泉佐野商工会議所	大木町内会
いいね合同会社	大阪いずみ市民生活協同組合
NPO 法人 樹恵会	泉佐野地球交流協会

〔17〕 共同募金事業の推進

1. 赤い羽根共同募金運動

10月1日から12月31日にかけて赤い羽根共同募金運動として広く市民に協力を呼びかけ、戸別募金等を実施した。市内小中学校にも協力を依頼し9校にて児童、生徒による募金活動が行われた。街頭募金については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動中止とし、共同募金 PR イベントとしていこらも～る泉佐野にてパネル展示等を実施した。

募金額 2,651,955 円（昨年比 +36,256 円）

2. 歳末たすけあい運動

“つながりささえあうみんなの地域づくり”のスローガンにもとづき、「歳末たすけあい運動」を実施した。多くの浄財が寄せられ、ひとり暮らし高齢者への見守り支援や児童が書いた年賀状の送付などに配分をし、福祉の増進に役立たせていただいた。

募金件数 41件 募金額 846,002 円（昨年比 -226,719 円）

払出金額 930,365 円

※差額は令和2年度からの繰越金にて払出

〔18〕 低所得世帯への支援

低所得者世帯や高齢者・障がい者世帯、生計中心者が失業した世帯等に対して、大阪府生活福祉資金貸付の窓口として相談・申請を受け付けるとともに、必要に応じて生活困窮者自立相談支援機関や民生委員を紹介した。

相談件数	254件
------	------

貸付種類	生活福祉資金 (総合支援資金を除く)	総合支援資金 ※臨時特例つなぎ資金含む	緊急小口資金
申込件数	12件	1件	7件
申込金額	5,981,000円	450,000円	648,000円

新型コロナウイルスの影響を受け、減収や失業した世帯等に対し「新型コロナウイルス感染症特例」として相談・申請を受け付けるとともに、必要に応じて生活困窮者自立相談支援機関や基幹包括支援センターとの連携を行った。

相談件数	2,122件
------	--------

貸付種類	特例貸付 緊急小口資金	特例貸付 総合支援資金	特例貸付総合支 援資金(延長)	特例貸付総合支 援資金(再貸付)
申込件数	463件	464件	91件	531件
申込金額	83,310,000円	150,020,000円	56,350,000円	290,090,000円

[19] 市立社会福祉センターの管理運営

社会福祉センターの管理運営業務を受託し、施設的环境を整備するとともに利用者が快適に利用できるよう、設備機器の保守点検を委託契約した。コロナ感染対策等により9月末まで一般利用を中止した。

職員研修では、AED取り扱い研修会を実施した。

1. 高齢者・障がい者交流会、研修会の開催

【高齢者・障がい者交流会】

例年多人数が参集する交流会を2回開催しているが、コロナ禍により今年度は内容変更し、「“災害に対する家庭での備え”・“自分らしく生きる”ことを実現するために」の講習会(定員40名)の開催を9月30日・2月8日の日程で予定していましたが、それぞれ緊急事態宣言とまん延防止等重点措置宣言が発令されたため中止した。

【研修会】

開催日	研 修 会 名	参加者数
3月25日(金)	AEDの取り扱いに関する訓練とガソリン放火事件等に対する対応について 場所：福祉センター 大会議室	約8名

2. 福祉センター利用状況

大広間利用者数	娯楽室利用者数	老人福祉センター (健康機器)
2,238名	2,736名	373名

※大広間 詩吟・大正琴・健康麻雀・民踊・カラオケ・華道・シニアソロバンのクラブが使用

※娯楽室 囲碁・将棋のクラブが使用

会議室利用件数

	小会議室		大会議室		合計	
午前	147 件	1,851 名	146 件	2,568 名	293 件	4,419 名
午後	210 件	2,943 名	191 件	4,131 名	401 件	7,074 名
夜間	45 件	745 名	13 件	230 名	58 件	975 名
合計	402 件	5,539 名	350 件	6,929 名	752 件	12,468 名

扇湯シャトルバス運行日数及び利用人数

運行日数 155 日

扇湯行 602 名

福祉センター行 628 名